

調査年月日: 2017(H29)/10/05(木) 曇り

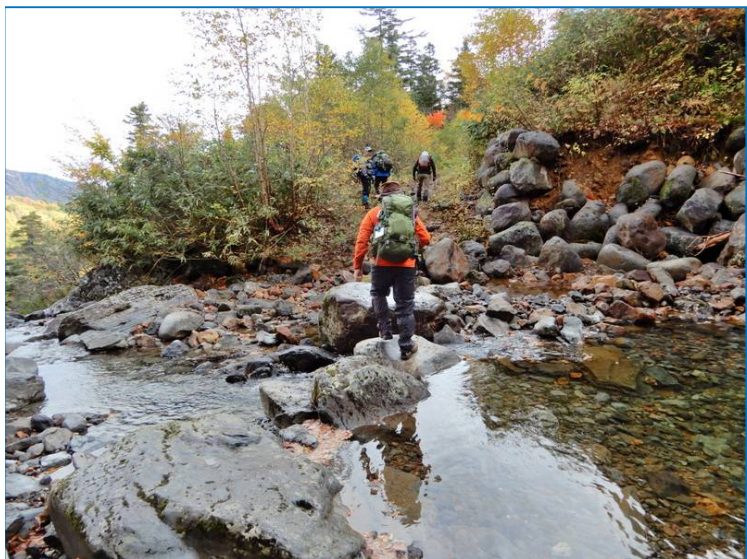
調査区間: 松川温泉～奥産道・連絡道

～三ツ石山登山道(～三ツ石山荘)

調査等参加者: 松田、米澤、佐藤、浪岡、上村、阿部



紅葉を眺めながら奥産道を歩く



連絡道の赤川渡渉点



湿地区間には輪切り丸太が敷かれているが、滑り易い安全確保のために滑り止めなどの工夫が必要

[メモ]

文責: 阿部丕顕

1 調査主眼点

- ① 登山道の状況、危険箇所有無確認
- ② 誘導標等の状況確認
- ③ 眺望地点等登山道の魅力再確認

2 調査結果

(1) 総括

- ・ 全体に良く管理されている。
- ・ ただし、一部に安全対策の検討を要する箇所がある。

(2) 登山道の状況等について

- ・ 連絡道は刈り払い等、しっかり管理されている。
- ・ 赤川渡渉点手前の仮設栈橋は支柱の基礎部が洗掘崩落しており落橋の虞があるので、早急に補強等の対策が必要と思われる。
- ・ 湿地区間に敷設している輪切丸太は滑り易いので、転倒防止対策が望まれる。

(3) 誘導標等について

- ・ 要所にルート案内図と誘導標識が設置されており、特に問題は見当たらない。
- ・ 誘導標には英語併記されているが、制札にはない。外国人の利用を考え、出来るだけ早期に英語併記されることを期待する。

(4) 登山道としての魅力

- ・ 車道区間については岩手山や源太ヶ岳の眺望を楽しめるが、連絡道には特記すべき内容は無い。
- ・ 三ツ石山へのアプローチとしては、松川温泉から直接登る三ツ石山登山道の急坂を回避するルートとして利用されているが、車道区間が通行止めの場合、メリットは少ないと思われる。

(5) 参考

- ① 今回の踏査総延長 (三ツ石山荘まで) 約10.6km
標高差約460m

松川大橋～三ツ石山登山道交点 約2.6km
所要時間は全行程約6時間50分 (休憩含み)

登山: 車道区間 約1時間20分
連絡道区間 約35分

下山: 三ツ石山荘～松川温泉 約2時間40分

※ 下山時は自然観察しながらで通常より大幅に時間をかけたため、参考にはならない。



松川大橋袂に設置されているルート図 (部分)
三ツ石山荘まで、松川大橋から4.5km

大松倉ゲートから3.4kmの表示



奥産道松川ゲート、全面通行止め表示



ゲートから200m付近路肩崩落部



松川大橋手前から新雪の源太ヶ岳を振り返る



松川大橋へ



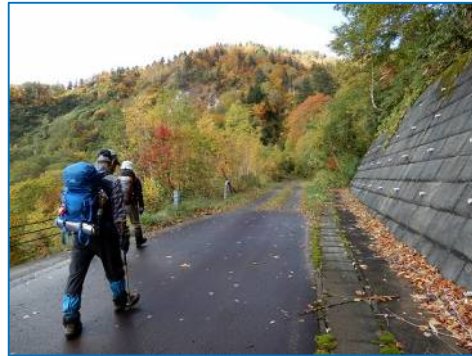
松川大橋ゲート



ゲート横のルート案内図



路肩崩落・幅員減少 (ゲートから約0.9km)



松川大橋ゲートから約1.1kmの舗装端



車道工事終点近し



車道工事終点のルート案内図設置箇所



ルート案内図



連絡道起点付近、赤川渡渉点手前の仮設栈橋杭基礎部が洗掘崩落。安全対策必要 (上村氏撮影)



(上村氏撮影)





赤川渡渉点 (左岸から)



同左地点に設置された誘導標識
「三ツ石山荘 2.7km」 「松川温泉 2.6km」
「松川大橋 1.8km」



赤川渡渉点 (右岸から)



渡渉点近くの急坂 (ロープあり)



しっかり刈払いされた道



沢への降り口。すぐ下に階段が続く



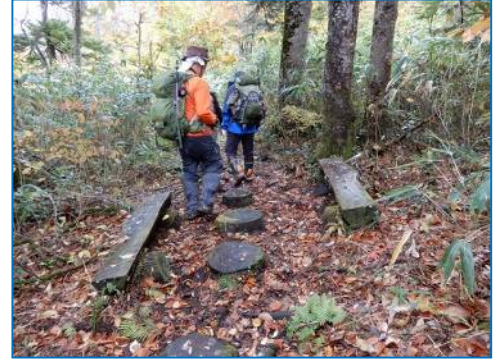
梯子状木製階段



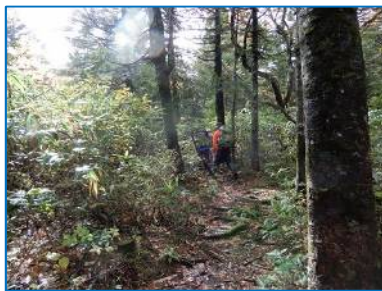
同左、沢部付近崩壊痕あり



2か所目の梯子状木製階段



丸太半割のベンチ (区間に2か所あり)



木橋 L ≒ 2m
(丸太半割2列)



三ツ石山登山道との交点標識
「松川大橋 2.6km」 「三ツ石山荘 1.9km」
「松川温泉 1.8km」



三ツ石山荘に向かう



三ツ石湿原にて



登山道調査参加者 三ツ石山荘にて